

塗装略号：2-ASE

塗装仕様：弱溶剤型2液シリコン仕上げ（塗り替え）

上塗塗料名：114ライン ユメロック

規格：——

素材：コンクリート・モルタル・スレート板、ALC、サイディングボードなど

部位：建物外壁など

工程	塗料と施工内容	シンナー名 希釈率%	標準塗付量 kg/m <sup>2</sup> ・回	標準膜厚 μm・回	塗り重ね 可能時間 h (20℃)
1	素地調整				
	旧塗膜でハガレ部分、フクレ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。 またエフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧水洗浄等で除去し、乾燥した清浄面とする。				
2	下塗				
	033ライン エポシーラーマルチ 033-8150 塗装方法 ハケ、ローラー、エアレス 塗装回数 1回 塗布面積 140~175m <sup>2</sup> /14kgセット・回	(016-0059) 通常不要	0.08~0.10	——	3以上
3	上塗				
	114ライン ユメロック 114-0203 ベース 指定色 主剤 114-0140 硬化剤 配合比（重量）主剤9：硬化剤1 塗装方法 ハケ、ローラー、エアレス 塗装回数 2回 塗布面積 115~135m <sup>2</sup> /15kgセット・回	016-0059 塗料用シンナー ハケ、ローラー 5~15 エアレス 10~20	0.11~0.13	——	2以上

※塗付量は被塗物の形状、素材、塗装方法などによって多少異なります。

## 特長

- ・2液反応硬化型塗料ですから耐候性・耐久性にすぐれています。
- ・塗料用シンナーで希釈できるため、旧塗膜を侵しません。

## 施工上の要点および注意事項

- ・塗料はよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- ・塗装作業中及び乾燥する際は十分に換気を行ってください。
- ・気温が低い時、湿度が高い場合には完全な塗膜ができにくく、十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上での塗装はさけてください。
- ・有機溶剤を含有していますので、塗装作業中及び乾燥時の換気と火気厳禁を守ってください。
- ・塗料の希釈には、必ず016-0059塗料用シンナーを使用してください。他種のシンナーを使用すると、塗料中の樹脂が破壊されて使用できなくなります。また、必要以上に希釈するとタレや色分けの原因になります。
- ・降雨、降雪、強風などの場合、また、天候不良の恐れがあるときは、外部の塗装はさけてください。
- ・塗装間隔（乾燥時間）は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより多少変わります。
- ・塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、砂、枯れ葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- ・使用した塗装用品洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- ・2液型塗料は、主剤と硬化剤を所定の配合比で混合し可使用時間内に使用してください。
- ・114ライン ユメロックの可使用時間は7時間（20℃）、4時間（30℃）です。
- ・外部コンクリート、モルタル面に、素穴や段差、ヒビ割れがある場合には、樹脂モルタルかセメントフィラーで不陸調整を行ってください。また吸い込みの多い面などを塗る場合は、各種ロック建築用シーラーで適切なものを使用しあらかじめ下塗をしておいてください。エマルジョンパテの外部での使用はさけてください。
- ・改修塗装の場合、素地の種類によって塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い、試し塗りをを行った後仕様を決めてください。
- ・下塗り塗料（シーラー）は「ぬれ感」が出るまでを目安に塗装してください。素地の吸い込みが著しい場合は、その部分を塗り増ししてください。素地の吸い込みは、素地調整の状況、含水率などにより大幅に変わります。あらかじめ試し塗りをし、塗布量を確認してください。
- ・シーリング材の上に塗装する場合、シーリング材の種類、劣化度により付着不良を起こしたり、表面が汚れてくる場合があります。状況によっては、シーリング材用プライマー「051-0200 ロックノンタックプライマーS」を塗装してください。またプライマーを塗装してもシーリング材の種類によっては、汚れ、付着不良が発生する場合がありますので試し塗りをを行った後仕様を決めてください。
- ・各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となることがあります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- ・低汚染性については、被塗物の種類や、建物の形状、また、施工後特に塗膜が十分に乾燥する前もしくは乾燥して初期の段階で天候不良であった場合、その効果が十分に発揮されない場合がありますので、ご了承ください。
- ・塗付量は、標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。気温、天候状態、膜厚、素地の状態や塗装器具の種類、形状などにより多少異なります。
- ・各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となることがあります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- ・上塗り調色には、114ライン ユメロック原色または051ライン ロックトーンカララント#3000（5%以内）を使用してください。
- ・本仕様中の製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分注意を払うようご指導下さい。
- ・不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。
- ・掲載されている塗料の詳細な使用方法については、それぞれのカatalogueをご参照ください。

○労働災害事故防止のため安全データシート（SDS）をご参照ください。